TOSHIBA

COOKING BOOK

家庭用
東芝センサーオーブングリルレンジ

取扱説明書・料理集

形名 **ER-V9**

●このたびは東芝センサーオーブングリルレンジをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分理解してください。
●お読みになったあとはお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
●保証書を必ずお受け取りください。

まず

安全上のご注意を必ず読む（4～9ページ）

お使いになる前に必ず守っていただきたい事を記載してあります。

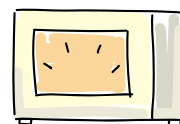
初めに

アースを取り付ける（6ページ）

「安全上のご注意」を読んで必ず取り付けてください。

次に

庫内のカラ焼きをする（12～13ページ）

オーブンでカラ焼きして、庫内の油を焼き切ります。

続けて

調理開始！（14～28ページ）

「調理のしかた」を読んで始めてください。

オートパワーオフ（待機電力0）について

省エネルギーを目的に、使用していないとき自動的に電源が切れる機能です。

- 電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは電源は入りません。
  一度とびらを開けると電源が入ります。

■表示部に「0」が表示されている状態で5分以上とびらの開閉がないと
自動的に電源が切れます。

■電源が自動的に切れた後は、とびらを開閉すると、電源が入り、表示部
に「0」が表示されます。

もくじ

ご使用の前に

調理のしかた

料理集

知っておいていただきたいこと

こんなときは

この取扱説明書では次のように表しています。

操作手順	操作によって自動的に変わった状態	表示 点灯中	点滅中
1 2 3	▶	レンジ	レンジ

安全上のご注意 必ずお守りください

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと」を示します。

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

図記号の説明

禁 止

⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

指 示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注 意

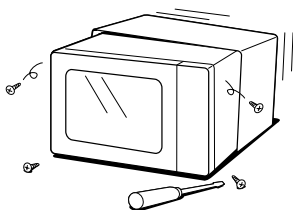
△は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

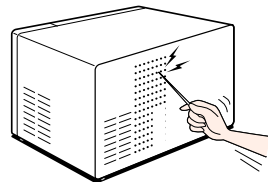
＊1：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

ご使用の前

⚠危険

分解禁止

自分で分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

禁 止

吸気口、排気口、穴などにピンや針金などの金属ものまたは異物、指を入れない
感電・けがの原因になります。
もし、異物が中に入ったときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

⚠警告

コンセントを単独に使用

電源は、交流１００Ｖで、定格１５Ａ以上のコンセントを単独で使用する
交流１００Ｖ以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。

禁 止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
火災・感電の原因になります。

ご使用の前（つづき）

⚠警告

禁　止

電源コードや電源プラグを、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

ほこりをとる

電源プラグの刃・刃の取り付け面に、付着したほこりはふき取る
ほこりが付着すると、火災の原因になります。

⚠注意

禁　止

電源コードや電源プラグは、排気口や温度の高いところに近づけない
火災・感電の原因になります。

プラグをコンセントから抜く

長期間、使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化により漏電火災の原因になる場合があります。

プラグを持って抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く
コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

据え付けるとき

⚠警告

包装材を取り除く

使用前に、包装材はすべて取り除く
取り除かないと運転中に発火し、火災・やけどの原因になります。

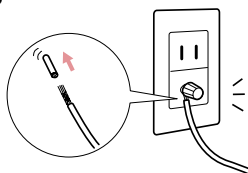
包装用ポリ袋は、幼児の手の届かない所に保管または廃棄する
頭からかぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

安全上のご注意

据え付けるとき（つづき）

⚠警告

アースを
接続する

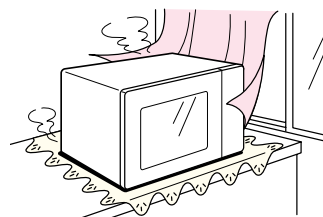
アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電する原因になります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。

●アース端子を使う場合
- アース線が本体のアースねじにしっかり接続していることを確認してから、アース線先端の皮をむき、芯線部をアース端子につなぐ。

●アース端子が無い場合
- アース棒（別売り：部品コード32582118）をお求めの上、アース工事（電気工事資格者によるD種接地工事）を行ってください。
購入、工事の依頼はお買い上げの販売店にご相談ください。

■アース工事（電気工事資格者によるD種接地工事）が必要な据え付け場所
- **湿気の多い場所**
土間、コンクリート床、地下室、醸造・貯蔵所など
- **水気の多い場所（漏電遮断器も設置必要）**
水滴の飛び散る所、水を使う土間、洗い場などの水気の多い所

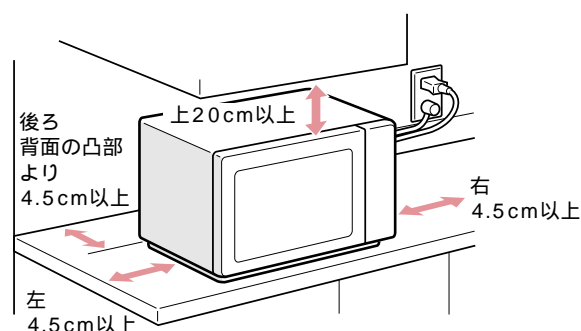
■アース線を接続できないもの
- **ガス管、水道管、電話線のアース、避雷針**
法令で禁止されています。

禁　止

燃えやすいもの、熱に弱いものを本体に近づけない
焦げや、火災の原因になります。
たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなどの上に置いたり、カーテンなどを近づけないでください。

⚠注意

壁との間
をあける

壁との間をあけて置く
過熱し火災の原因になります。
右・左・上・後ろいずれか1面を開放して設置してください。
後ろは調理物からの油や蒸気で壁が汚れることがあります。排気が壁に直接あたらないように設置してください。

［設置基準適合］

禁　止

水のかかるところや蒸気の出る機器および火気の近くでは使用しない
火災・感電・漏電の原因になります。

禁　止

不安定な場所に置かない
落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。
もし地震などで転倒・落下した場合は、そのまま使用せずお買い上げの販売店に点検を依頼してください。
本体の落下・転倒を防ぐための転倒防止金具
（別売り：部品コード32582136）をお求めの方は販売店にご相談ください。

使用するとき

⚠警告

禁　止

調理中に、電源プラグを抜き差ししない
抜き差しすると火花が発生し、
火災・感電の原因になります。

禁　止

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない
感電・けが・やけどの原因になります。

⚠注意

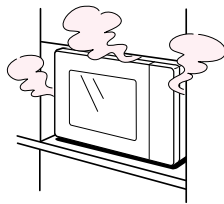
禁　止

排気口や吸気口をふさがない
火災の原因になります。

禁　止

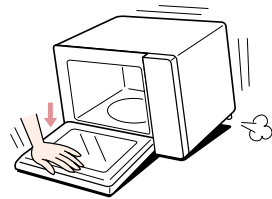
とびらや庫内に、無理な力や衝撃を加えない
変形し、電波もれによる人体障害の恐れがあります。また、とびらにぶらさがると本体が倒れて、けがをする原因になります。

禁　止

角皿、庫内底面やとびらのガラスにものをぶつけたり衝撃を加えない
破損して、けがの原因になります。
容器や茶わんの出し入れのときは、庫内底面やとびらのガラスにぶつけないようにしてください。
ガラスにキズがつくと、使用中割れることがあります。

禁　止

衣類・ふきん類の乾燥、食品の収納など調理以外の目的には使用しない
過熱・異常動作して火災の原因になります。

禁　止

とびらにものをはさんだまま使用しない
電波漏れによる、人体障害や発火の恐れがあります。

禁　止

本体の上に、ものを置いたり、布などをかぶせたりしない
置いたものが過熱し、変形・焦げ・発火の原因になります。

禁　止

庫内で食品が燃えたときは、とびらを開けない
とびらを開けると勢いよく燃え、火災の原因になります。

- 食品が燃えたときは次の手順で処置してください。
①とびらを閉めたまま「とりけし」キーを押し、運転を停止する。
②電源プラグをコンセントから抜く。
③本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待つ。
④鎮火しないときは、水か消火器で消火する。
- そのまま使用せずに、販売店に点検を依頼してください。

安全上のご注意

レンジ加熱のとき

⚠注意

禁　止

庫内がカラのまま、調理しない

- 本体や庫内が異常に加熱され、高温になり、やけどの原因になります。
- また長時間加熱や、少量の食品加熱後も庫内が熱くなり、やけどの原因になりますので終了直後は庫内にふれないでください。

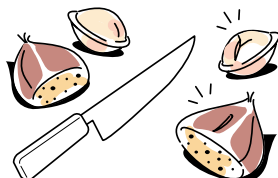
食品を
移し替える

缶詰、ビン詰、袋詰、レトルト食品、真空パック入り食品は移し替える

また鮮度保持剤（脱酸素剤）は取り除いてから加熱します。
発火・破裂・けが・やけどの原因になります。

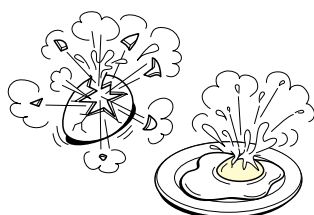
ふたをとる
殻に切れ目を
入れる

密封性の高い容器のふたやせんをはずし、皮や殻のある食品は、切れ目や割れ目を入れる

破裂して、けが・やけどの原因になります。

禁　止

卵は、そのまま加熱しない

電子レンジで卵を加熱すると、内部も同時に急激に加熱され膨張します。殻や、卵黄膜によって密閉状態となっているため、一気に破裂してやけどをする原因になります。また取りだした後に、突然破裂することもあります。

- 卵はよく割りほぐしてから加熱してください。
- ゆで卵は作らないでください。
- ゆで卵のあたためなおしもしないでください。

食器や食品を取り出すとき、ラップをはずすときなどは注意する

高温になっていたり、ラップをはずすときに蒸気が一気にでて、やけどの原因になります。

禁　止

食品は加熱しすぎない

- 飲みもの（コーヒー、牛乳、水など)、生クリームなどの油脂分の多い液体は、取り出すときに突然沸騰し、やけどの原因になります。
- 飲みものは加熱する前にスプーンなどでよくかき混ぜてください。
- 少量の食品は発火する恐れがあります。
- ガラス容器が熱くなり、割れたり溶ける原因になります。

禁　止

アルミホイル、金属容器、金串は使わない

火花が発生し、庫内底面やとびらのガラス割れなどでけがの原因になります。

ヒーター加熱のとき

⚠注意

接触禁止

ヒーター加熱使用中や終了後は、高温部（庫内・とびら・本体）及び取り出した角皿には触れない

- 高温のため、やけどをする原因になります。
- 食品の出し入れや付属品の取扱いには、付属のミトンを使います。

禁　止

調理中、調理後、とびら・庫内・角皿などに水をかけたり、急に冷却しない

割れてけがをしたり、発生する蒸気や飛沫でやけどをする原因になります。

禁　止

破れたミトンや、水にぬれたミトンは使わない

熱く感じることがあります。とくに水や油でぬれたときや破れているときは、やけどの原因になります。

お手入れ

⚠警告

プラグを抜く

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

感電・けが・やけどの原因になります。

禁　止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

⚠注意

プラグを抜き
冷めてから

本体の掃除は電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う

感電ややけどをする恐れがあります。

禁　止

食品や肉汁などで、汚れたままにしない

さび・発煙・発火などの原因になります。

- 付着した場合は、本体が冷めてから必ずふきとってください。

お願い

ヒーター加熱調理で、魚調理等油煙の出やすい調理を頻繁にされ、壁面が汚れる場合は本体上面を、開放できる所に置くことをお勧めします。

テレビ・ラジオから3m以上離す

雑音や、映像の乱れを防止するために受信感度の弱い場所はさらに雑音が小さくなるまで離してください。

熱や、蒸気から離す

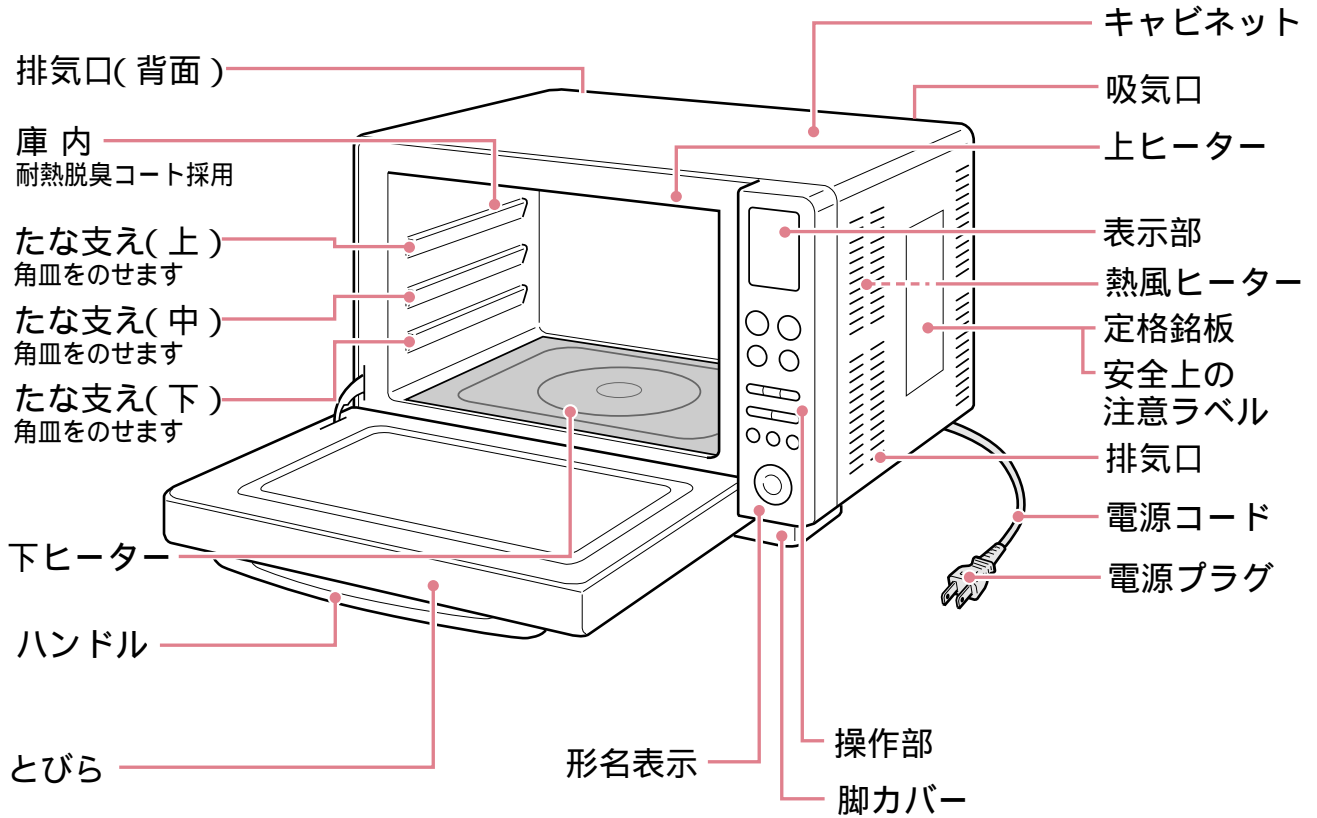
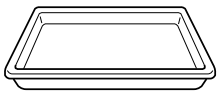
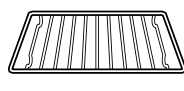
保温釜・ポットなどの蒸気が、本体や操作部にかからないようにしてください。

本体の移動の際は気をつけて

電子レンジは構造上、操作部側が重くなっています。

各部のなまえとはたらき

本 体

[正面]

※「上ヒーター」「下ヒーター」「熱風ヒーター」は庫内の外側に位置していますので、見えません。

[背面]

付属品

付属品は正しくお使いください

角皿1枚 (セラミック)	角皿1枚 (鉄板ホーロー)	焼網1枚	ミトン2個 使いかたは 70ページ参照

操作部

温度設定目安表

お好みの温度にあたためるときの目安表です。

とびらメニュー

レンジ出力切替　お好み温度

表示部

時間や温度、調理内容などを表示します。

ワンタッチメニューキー

時間や温度設定が不要なメニューです。キーを押すだけで自動的に加熱します。(14〜19ページ)

手動調理キー

調理に応じて時間や温度を設定して使います。
(22〜28ページ)

仕上がり調節キー

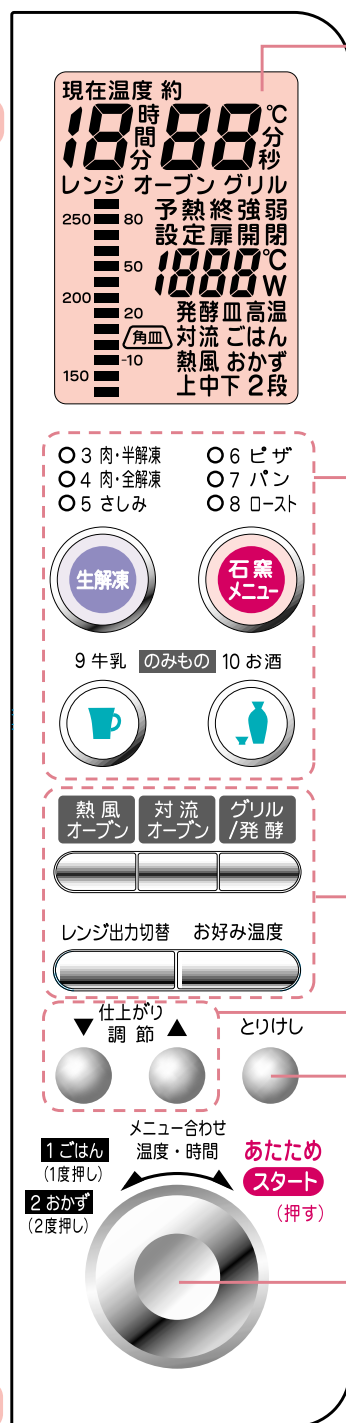
- 自動調理の温度調節に使います。
- 自動調理の仕上がり調節に使います。
  ▲キーを押すと［強め］に、▼キーを押すと［弱め］になります。強めは調理時間が長くなり、弱めは短くなります。

とりけしキー

キーを押し間違えたときや、途中で調理を止めるときに押します。

ダイヤル/スタート兼用キー

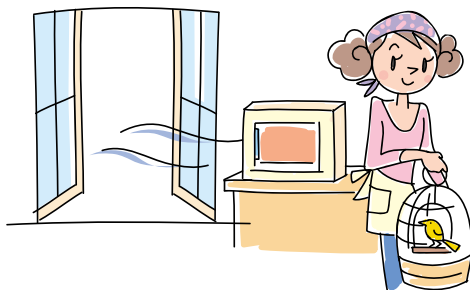
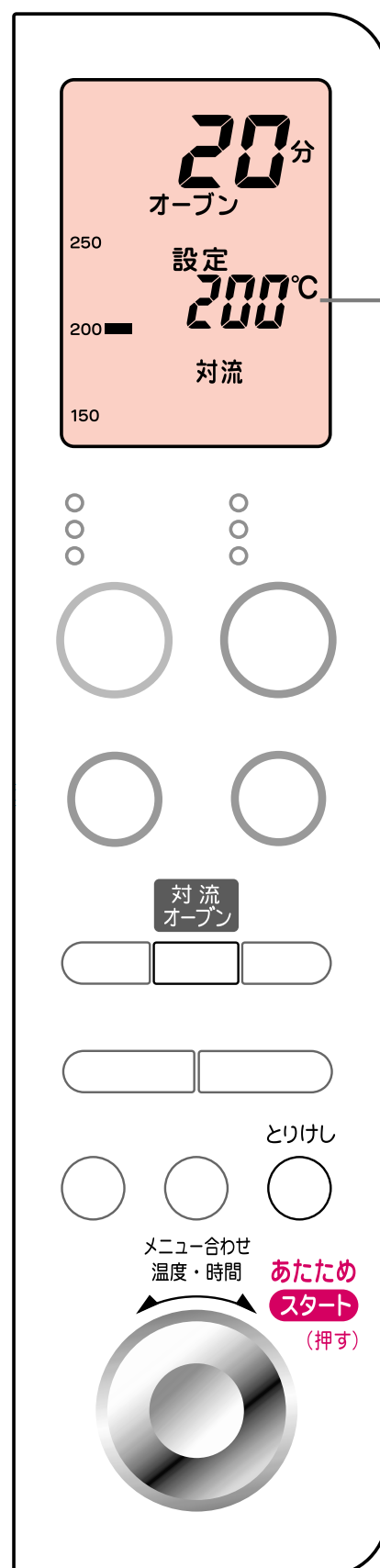
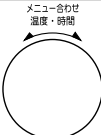
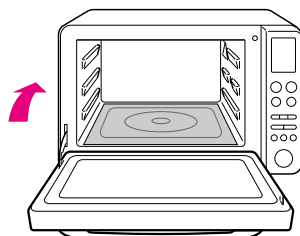
- とびらに表示してあるオートメニューの選択に、使います。
- 手動調理の時間および温度の設定に使います。
- 手動オーブン調理中の温度の変更に使います。
- 調理中の時間の増減に使います。時間は右に回すと長くなり、左に回すと短くなります。
- あたためや、オートメニュー、手動調理キーのスタートのときに、押します。

※調理途中にとびらを開けたときは、もう1度押します。

ワンタッチメニューキーの押しかた

ワンタッチメニューとは食品を入れてひとつのキーを押したら、すぐに加熱が始まるメニューのことです。

■「あたため」「生解凍」「石窯メニュー」「牛乳」「お酒」のときは、食品を入れとびらを閉めたら、1分以内にキーを押してください。

■ 1分以上たってからキーを押すと
→庫内がカラの状態での加熱を防ぐ機能が働くため、表示部に「扉開閉」が表示され調理がスタートしません。
一度とびらを開閉してから、キーを押してください。

庫内のカラ焼き

★初めてお使いのときは、オーブンでカラ焼きして
　庫内の油を焼き切っておきます。
　最初、煙が出たり、臭いがすることがありますが、
　故障ではありません。
　小鳥などの小動物は別の部屋に移し、換気のため
　に窓を開けて行いましょう。

1 庫内には何もセットしないで、とびらを閉める

対流オーブン（予熱なし）200℃で20分カラ焼きする

2 対流オーブン を2回押す

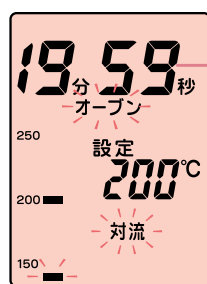
3 を回して200℃に合わせる

4 対流オーブン をもう1度押す

5 メニュー合わせ 温度・時間 を回して20分に合わせる

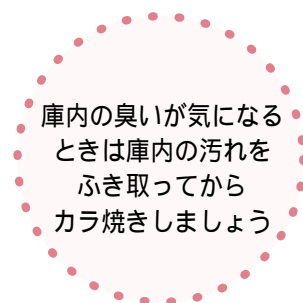
・30分以上の設定はしないでください。

6 を押す

▶ブザーが3回鳴り、カラ焼き終了

表示は残り時間です。

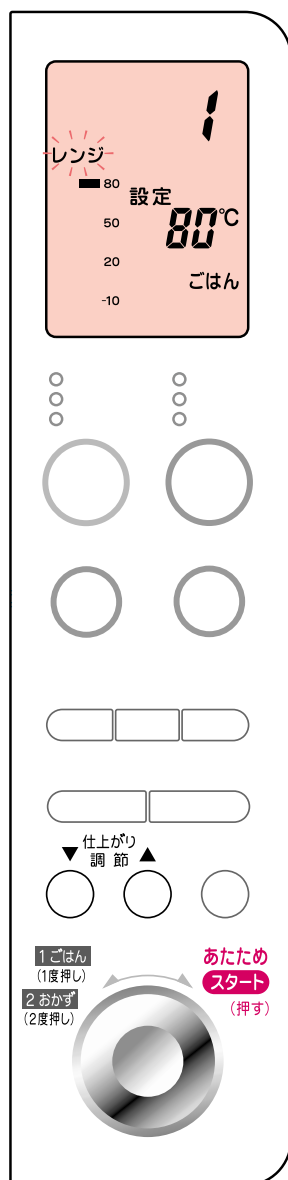
7 とりけし を押し、とびらを開ける

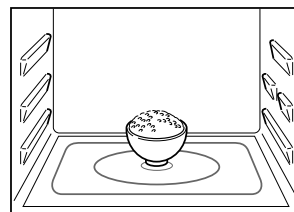
お知らせ

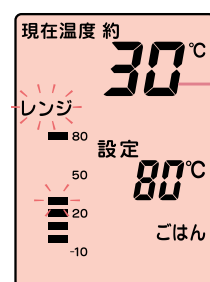
・「とりけし」を押すか、とびらを開けないと、取り出し忘れお知らせ機能が働き、ブザーが鳴ります。（80、81ページ参照）

時間・温度を合わせずに自動調理

ごはん・おかずの あたため

★「あたため」キーで一度にあたためられる分量は100〜600gです。

例：ごはんをあたためる

1 食品を入れる

- 食品の量にあった耐熱性の容器に入れ、**赤い円を目安に**必ず庫内中央に置きます。

2 を押す

- 押すごとにごはん ⟷ おかずと変わります。（5秒以内）
  あたためるものに合わせてください。
- とびらを閉めて1分以内に押してください。

表示は食品の
およその温度です。

▶加熱開始

▶ブザーが3回鳴り、加熱終了

- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
- 容器が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。

■設定されている仕上がり温度を最初から変えたいとき

→ スタート後15秒以内に「仕上がり調節」を押して温度を変える

- ▲◯ を押すと設定温度が5℃高くなり、▼◯ を押すと5℃低くなります。
- 「ごはん」については現在の設定温度が次回から自動設定されます。

→ お好み温度で温度を設定してあたためる（22〜23ページ参照）

■ぬるい部分があるときや、もう少し熱くしたいとき

→「レンジ」で出力と時間を合わせてあたためる（24〜25ページ参照）

上手にあたためるために

●**食品は必ず庫内中央に置いてください。庫内端に置くと加熱がうまくできません。**
また小さなものを端に置くと赤外線センサーで正しく検知できず、発煙・発火の原因になります。

●**庫内の食品カスや、水滴などをふきとってから、食品を入れてください。**

●**あたためる食品の分量が100g未満の場合は「レンジ」で出力と時間を合わせて加熱してください。**

●室温や冷蔵の食品はラップをしないで加熱する

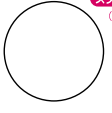
・ごはん…かたまりはほぐし、冷蔵のごはんなど固めのものは
水を振りかけて加熱します。1杯の量が多いとき
(450g以上)は仕上がり温度を低めに設定します。
・煮もの…煮汁を切って加熱します。
・むしもの…パサついているときは霧を吹いて加熱します。
・汁もの…仕上がり温度を高めに設定して加熱します。

●冷凍した食品はラップをして、器にのせて加熱する

※ラップは食品にぴったりつけないと、上手に加熱できません。
・冷凍ごはん… ラップに包んだ冷凍ごはんはラップの重なっている方を
下にして皿にのせて加熱します。
・市販の冷凍食品…容器に移しかえて加熱します。
・冷凍野菜…「レンジ」で出力と時間を合わせて加熱します。（24～25・29ページ参照）
・冷凍しゅうまい…仕上がり温度を高めに設定して加熱します。

●とろみのある食品はラップをして加熱する

※ラップは食品にぴったりつけないと、上手に加熱できません。
・カレー・シチュー… 深めの器に入れ、ラップして加熱後、混ぜ合わせます。
加熱するときは仕上がり調節 ○ を4回押して加熱して
ください。（95℃設定）

●あたためるときはふたは使わない

・陶器製、ガラス製、プラスチック製などのふたをすると赤外線センサーが
正常に働かないため、上手に加熱できません。
・市販のお弁当もふたを取り、アルミホイルなどをはずして加熱してください。

●庫内を十分冷ましてから加熱する

・庫内が熱いと赤外線センサーがうまく働きません。
また熱に弱い容器（プラスチック製など）が溶けたり変形したりすることがあります。
表示部に「皿高温」が表示されたときは表示が消えるまでお待ちください。

●複数の食品を同時にあたためるときは

・食品の分量が極端に異なったり、あたためる前の食品の温度差があると均等にあたたまりません。

次のものは では、加熱できません

●牛乳やお酒などの飲みもの

→「牛乳」「お酒」で種類を選んであたためる。（16～17ページ参照）

●中華まん

→「レンジ」で出力と時間を合わせて加熱する。（24～25・29ページ参照）

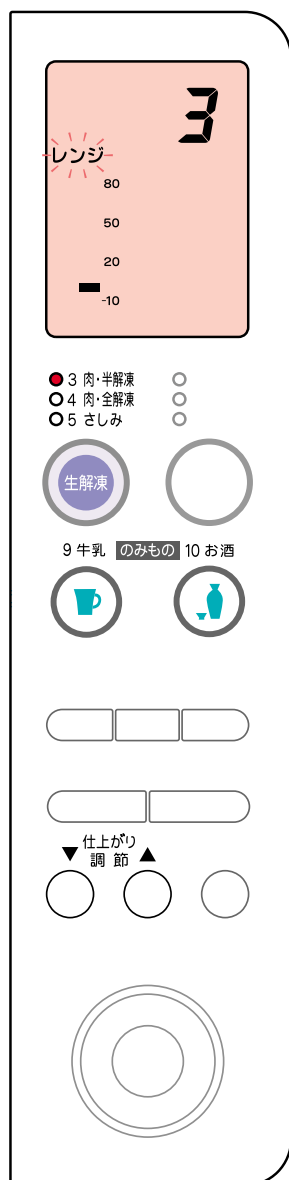
●魚や肉の解凍

→「生解凍」でコースを選んで解凍する。（16～17ページ参照）

時間・温度を合わせずに自動調理

生解凍/牛乳/お酒

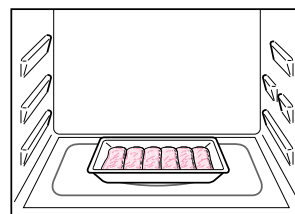
★「生解凍」キーで一度に解凍できる分量は100～1000gです。
★「牛乳」「お酒」キーで一度にあたためられる分量は1～4杯（本）です。

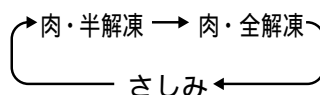
例：冷凍の肉を解凍する

1 食品を入れる

- 発泡トレイのまま解凍できます。
- ラップははずします。
- **赤い円を目安に**、必ず庫内中央に置きます。

2

○3 肉・半解凍
○4 肉・全解凍
○5 さしみ

を押す

- 押すごとに

と変わります。（5秒以内）
- とびらを閉めて1分以内に押してください。

表示は食品のおよその温度です。

（「牛乳」「お酒」では設定温度が表示されます。）

▶**加熱開始**
- 食品のおよその温度を表示。

▶**ブザーが3回鳴り、加熱終了**
- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
- メニューによっては、容器が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。

■設定されている仕上がり温度を最初から変えたいとき

→スタート後15秒以内に「仕上がり調節」を押して温度を変える

- 「牛乳」「お酒」

 ▲○ を押すと設定温度が5℃高くなり、▼○ を押すと5℃低くなります。
 現在の設定が次回から自動設定されます。
- 「生解凍」

 ▲○ を押すと【強め】、▼○ を押すと【弱め】になります。強め、弱めとも1,2,3があります。

■生解凍で解凍不足のときは

→「レンジ」で出力200Wを選び時間を合わせて様子を見ながら解凍する

生解凍

●解凍する食品の分量が100g未満の場合は「レンジ」出力200Wで様子を見ながら解凍してください。

3　肉・半解凍

・肉が好みの厚さに切れる、ほどよく凍った状態まで解凍。

4　肉・全解凍

・自然解凍のようにきちんとはがせたり、ほぐせるまで解凍。

5　さしみ解凍

・まぐろなどさしみ用…サクッと包丁が入って、盛り付けたときが食べ頃に解凍。

上手に解凍するために

●ラップやふたをしないで、発泡トレイのまま解凍する

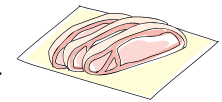
・ただし深めの発泡トレイは赤外線センサーがうまく働かないことがあるので浅めのトレイに移すか、平らな皿に、ペーパータオルを敷き、その上に置いて解凍してください。

●冷凍庫から出してコチコチの状態ですぐに解凍する

●アルミホイルで、変色や煮えを防ぐ

・魚などの身の細い部分に巻いて、加熱しすぎを防ぎます。
分量の多いときや形が均一でないときにも周囲に巻くことをおすすめします。

●解凍する食品の大きさをそろえる

・上手に解凍できる厚さは3cmまで。厚さは均一にして、周囲に薄いところがないように準備します。同時に2つ以上解凍するときは同じ種類、同じ大きさのものをそろえます。厚みのあるかたまり肉は、仕上がり調節【強め】に設定します。

●庫内を十分冷ましてから解凍する

・庫内が熱いと赤外線センサーがうまく働きません。表示部に「C21」「皿高温」が表示されたときはとびらを開けて庫内を冷まし、表示が消えるまでお待ちください。

のみもの

●食品は必ず庫内中央に置いてください。庫内端に置くと赤外線センサーが正しく検知できず、沸騰する恐れがあります。

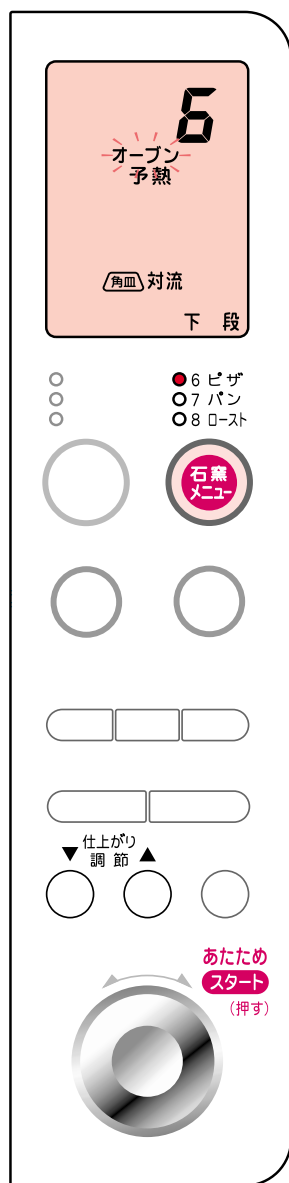
9　牛乳

・容器…背が低く広口のマグカップ。
（容器の大きさ・形状・材質で仕上がりが変わります）
・分量…容器の8分目。（少量しか入れないと沸騰する恐れがあります）
・おいしく飲むために…加熱後すぐかき混ぜる。（放置すると膜ができることがあります）

10　お酒

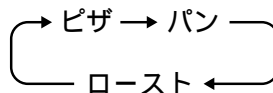
・容器…背が低くずんぐりしたとっくり。
（容器の大きさ・形状・材質で仕上がりが変わります）
・分量…とっくりの8分目。（少量しか入れないと沸騰する恐れがあります）
・おいしく飲むために…加熱ムラを少なくするためにとっくりの首の細い部分をアルミホイルで覆う。

時間・温度を合わせずに自動調理

石窯メニュー

予熱が必要な調理（例：ピザ・パン）

1 角皿（セラミック製）を庫内に入れる

- ピザのときだけ、角皿を入れます。

2 を押す

- 押すごとに ピザ → パン → ロースト と変わります。（5秒以内）
- とびらを閉めて1分以内に押してください。

▶**予熱開始**

▶**ブザーが5回鳴り、「予熱終」が点灯**
- 15分間予熱保持
- 角皿が熱くなっているので、取り出しや食品をのせる際には気をつけてください。

3 食品を入れ、 を押す

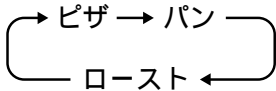
表示は残り時間です。

▶**残り時間を表示**

▶**ブザーが3回鳴り、調理終了**
- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
- 角皿が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。
- 終了後、表示部に「皿高温」が出ます。

■お好みの仕上がりを選ぶには

→スタート後15秒以内に「仕上がり調節」で強め弱めを加減する

- ▲を押すと【強め】、▼を押すと【弱め】になります。強め、弱めとも1,2,3があります。

■調理終了後にさらに加熱したいとき

→手動調理で様子を見ながら行う

予熱がいらない調理（例：ロースト）

1 **調理に合った付属品と食品を入れる**

2 **を押してローストを選ぶ**

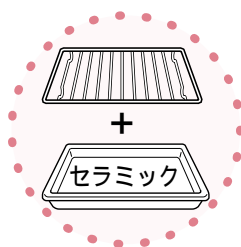
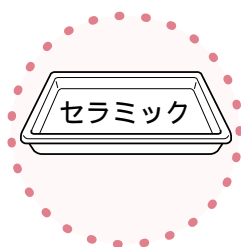
- 押すごとに ピザ → パン → ロースト と変わります。（5秒以内）
- とびらを閉めて1分以内に押してください。

■**途中で残り時間を表示**

■**ブザーが3回鳴り、調理終了**
- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
- 角皿・焼網が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。
- 終了後、表示部に「皿高温」が出ます。

予熱について
- 予熱の方法がメニューによって異なります。
  下記表及び料理集を参照してください。
- 角皿の予熱は石窯メニューの指定されたメニューのみで行います。他の指示のないメニューでは角皿の予熱はしないでください。

お願い
角皿は熱くなっています。
- 取り出した角皿は熱に弱い場所には、置かないでください。
- 子供や幼児の手が触れないように気をつけてください。

石窯メニュー

6　**ピザ：予熱あり/角皿を庫内に入れて予熱します。**
（32～33ページ参照）

7　**パン：予熱あり/庫内には何も入れないで予熱します。**
（33ページ参照）

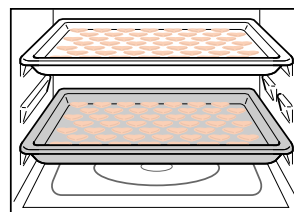
8　**ロースト：予熱なし**
（35・36ページ参照）

時間・温度を合わせずに自動調理

オートメニュー

★オートメニュー11～21について説明しています。

例：クッキーを焼く

1 **食品を入れる**

2 **を回してメニューを選ぶ**

3 **を押す**

表示は残り時間です。

▶途中で残り時間を表示

・残り時間は食品の種類・量によって変わります。

▶ブザーが3回鳴り、調理終了

・取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
・容器が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。
・メニューによって、調理終了後表示部に「皿高温」が出ます。

■お好みの仕上がりを選ぶには

→ スタート後15秒以内に「仕上がり調節」で強め弱めを加減する

・▲〇 を押すと【強め】、▼〇 を押すと【弱め】になります。強め、弱めとも1,2,3があります。

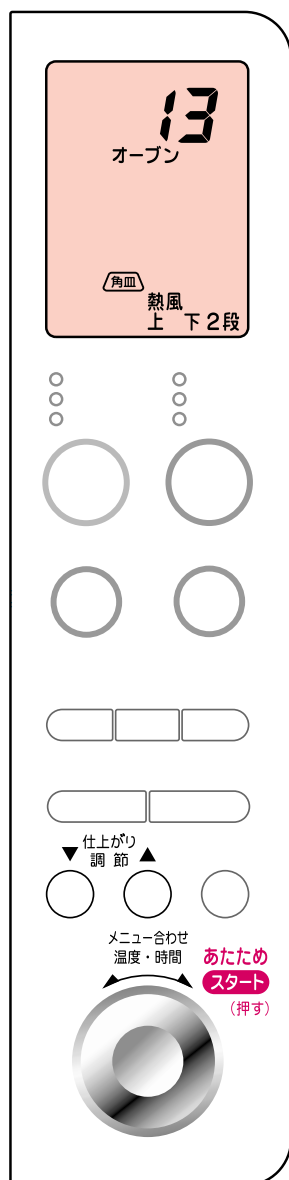
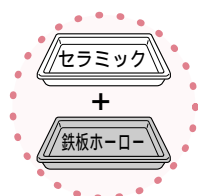
■調理終了後にさらに加熱したいとき

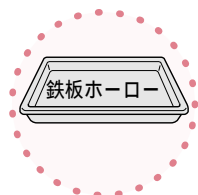
→ 手動調理で様子を見ながら行う

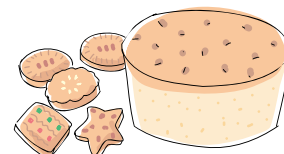
■途中で調理時間を増減したいとき（11 焼きいも～17 グラタンのみ）

→「スタート」を押して、残り時間が表示されたあと、ダイヤルを回して調理時間を1分単位で調節する

13 クッキー（48～49ページ参照）

セラミック

11 焼きいも（38ページ参照）
12 ミートローフ（37ページ参照）
14 スポンジケーキ（42～43ページ参照）
16 ローカロリーフライ（66ページ参照）
17 グラタン（57・58ページ参照）

鉄板ホーロー

15 シフォンケーキ（44～45ページ参照）

18 ゆで野菜（葉菜）下記参照
19 ゆで野菜（根菜）下記参照
20 シチュー・カレー（62ページ参照）
21 肉じゃが（63・64ページ参照）
※食品は庫内中央に置いてください。

18 ゆで野菜（葉菜：ほうれん草/ブロッコリー/キャベツなど）

- 分量…100～500ｇ
- ゆでかた…水洗いして葉と茎を交互に重ね（太い茎には十文字に包丁を入れる）、ラップできっちり包み、ラップの重なり合う部分を下にして平皿にのせて加熱します。量が多いとき(300g以上)は、半分に分けてラップに包みます。加熱後は流水でアクを取ります。

19 ゆで野菜（根菜：じゃがいも/さといも/かぼちゃなど）

- 分量…100～1000ｇ
- ゆでかた
  丸ごとゆでるとき… 水洗いして平皿に置き、平皿ごとラップをして加熱します。加熱後しばらく置いて繰り越し加熱（約5分）を利用します。
  切ってゆでるとき… 皮をむいて大きさをそろえて切り、水をふって平皿に置き、平皿ごとラップをして加熱します。

※加熱終了後は繰り越し加熱（食品内にこもった熱でさらに加熱が進むこと）を利用しましょう。繰り越し加熱の間は食品が乾きやすいのでラップははずしません。

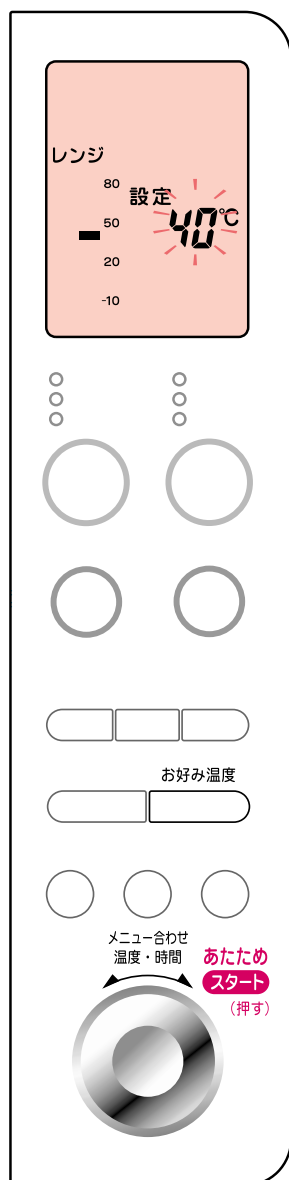
●野菜は必ずラップをして加熱する

- ラップをするときは何重にも重ねないでください。
  また、ラップの重なり合う部分を下にして置いてください。

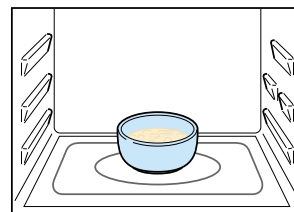
●水分を多く加えてゆでたい野菜（にんじんなど）は

→ 多めに水をふり、ラップをして「レンジ1000W」で時間を設定して加熱する。（24～25・29ページ参照）

※料理の前の数字は、とびらメニューにある料理の前の数字と同じです。

食品を
お好みの温度にあたためる

例：ベビーフードをあたためる

1 食品を入れる

・食品の量にあった耐熱性の容器に入れ、**赤い円を目安に**必ず庫内中央に置きます。

2 お好み温度 **を押す**

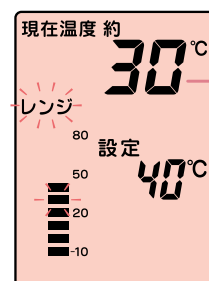
3 メニュー合わせ 温度・時間 **を回して-10～95℃の温度を選ぶ**

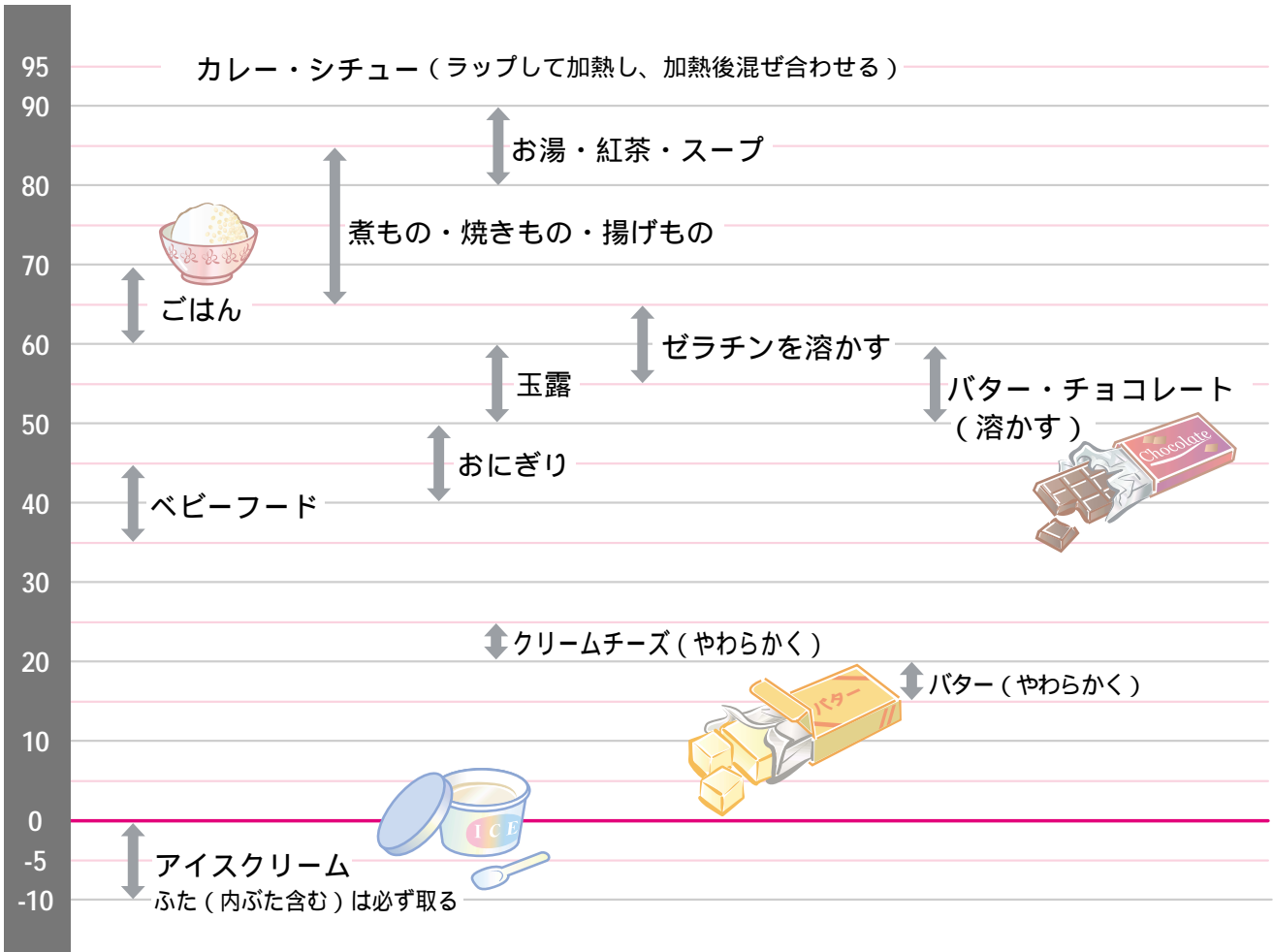
・あたため温度の目安は右の表を参照してください。

4 あたため スタート（押す） **を押す**

▶加熱開始

▶ブザーが3回鳴り、加熱終了

・取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）

表示は食品のおよその温度です。

おすすめ温度の目安

お好みの温度にあたためるとき

●ラップやふたをしないで加熱

・ただしカレー・シチューなどとろみのある食品はラップをします。（温度設定は95℃にします）

●食品は赤い円を目安に、必ず庫内中央に置く

●ベビーフードについて

・浅めの容器に移しかえて加熱します。
・冷凍したものはあたためられません。「レンジ」で出力と時間を合わせ、様子を見ながら加熱してください。
・食べさせる前に必ず温度を確かめてください。

時間・出力を合わせて

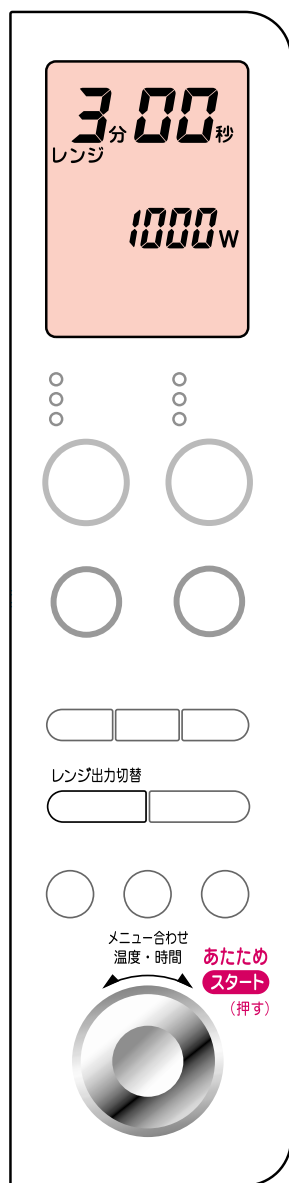
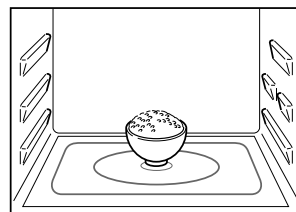
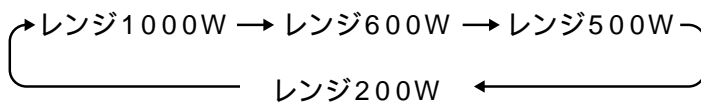
レンジで調理する

1 食品を入れる

- 食品の量にあった耐熱性の容器に入れ、**赤い円を目安に**必ず庫内中央に置きます。

2 を押す

- 押すごとに

レンジ1000W → レンジ600W → レンジ500W → レンジ200W

と変わります。

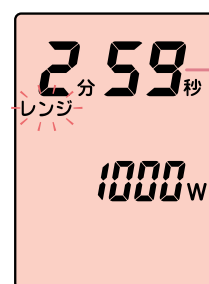
3 を回して時間を合わせる

- 最大設定時間
  レンジ1000W：20分
  レンジ600W、500W：30分
  レンジ200W：1時間30分

4 を押す

表示は残り時間です。

▶**ブザーが3回鳴り、調理終了**

- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
- 容器が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。

■出力を組み合わせて使いたいときは
「煮込みなどのときに使います」

例：レンジ600W15分→レンジ200W30分の場合
レンジ操作の2〜3の手順をくり返す
1）レンジ600W15分に合わせ、
2）レンジ200W30分に合わせ、
3）スタートを押す

- レンジ600Wが終わると続けてレンジ200Wの調理残時間を表示
- 最初の設定は1000W、600W、500Wのいずれか、次の設定は200Wのみ設定できます。

■途中で調理時間を増減したいとき

→「スタート」を押して、加熱が開始してから
ダイヤルを回して調理時間を1分単位で調節する

- 1000W、600W、500Wの残時間表示が5分以下のときは10秒単位の増減になります。

●調理内容に合わせてラップを使う

- **あたためはラップ不要ですがメニューによってはラップをかけて加熱**します。
詳しくは料理集を確認してください。

■調理時間の合わせかた

調理時間はレンジの出力によって合わせかたが違います。

	0〜5分	5分〜10分	10分〜20分
レンジ 1000W	10秒間隔	30秒間隔	1分間隔

	0〜5分	5分〜10分	10分〜30分
レンジ 600W 500W	10秒間隔	30秒間隔	1分間隔

	0〜15分	15分〜40分	40分〜1時間30分
レンジ 200W	30秒間隔	1分間隔	5分間隔

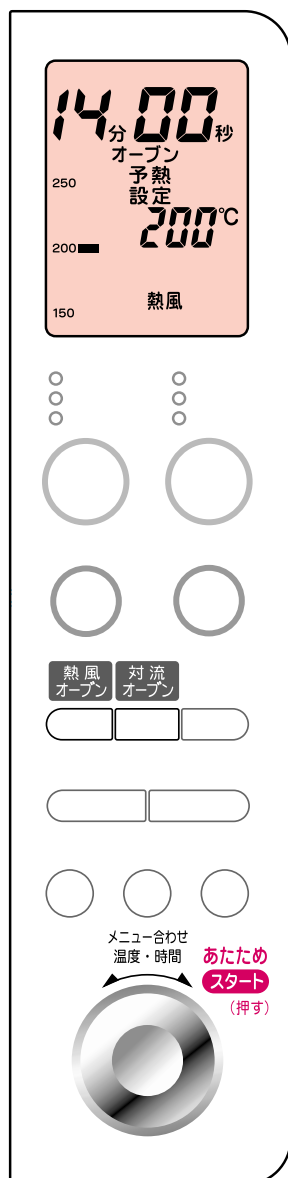
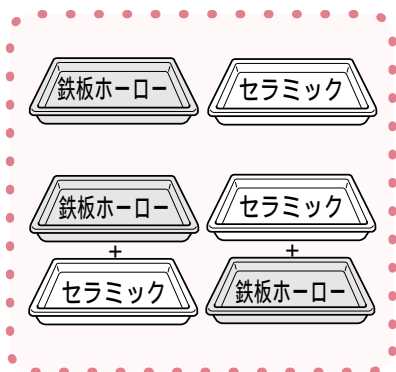
■冷凍食品

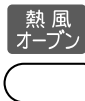
市販の冷凍食品を加熱するときは、パッケージ記載の出力と加熱時間を参考にしてください。

お願い
ミックスベジタブルの少量での解凍加熱はしないでください。

時間・温度を合わせて

オーブン 予熱あり 予熱なし で調理する

• 角皿は2種類あります。
使いわけは料理集を確認してください。

予熱あり

1 庫内に何もセットしないで

を1回押す

• 対流加熱のときは「対流オーブン」を選びます。

▶**「予熱」を表示**

2 メニュー合わせ 温度・時間 **を回して温度を合わせる**

• 100～250℃の間でセット可能

3 熱風 オーブン **をもう1度押す**

4 メニュー合わせ 温度・時間 **を回して時間を合わせる**

• 最大設定時間1時間30分

5

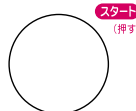
を押して予熱開始

▶**予熱終了1分前に残り時間を表示**

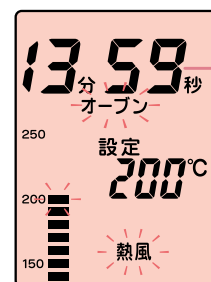
▶**ブザーが5回鳴り、「予熱終」が点灯**

• 15分間予熱保持

6 食品を入れ

を押す

▶**ブザーが3回鳴り、調理終了**

• 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
• 終了後、表示部に「皿高温」が出ます。

表示は残り時間です。

●熱風加熱と対流加熱

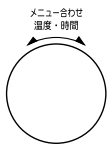
手動オーブン調理では、熱風加熱・対流加熱の2つの焼きかたが選べます。2段調理を行うとき、食品全体に焦げ目を付けたいときは熱風加熱を、また、しっとりと焼き上げたいときは対流加熱をお使いください。料理集ではお勧めの方法を掲載しています。

予熱なし

1 調理にあった付属品と食品を入れて

を2回押す

• 対流加熱のときは「対流オーブン」を選びます。

2

を回して温度を合わせる

• 100～250℃の間でセット可能

3

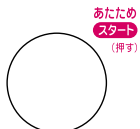
をもう1度押す

4

を回して時間を合わせる

• 最大設定時間1時間30分

5

を押す

▶**ブザーが3回鳴り、調理終了**
• 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
• 終了後、表示部に「皿高温」が出ます。

■途中で調理時間を変更したいとき

→ 加熱中にダイヤルを回して増減する。（1分単位で変えられます。）

■途中で調理温度を変更したいとき

→ 加熱中に「オーブン」キーを押し設定温度表示が点滅中（約5秒間）にダイヤルを回して10℃ずつ増減する。

予熱あり

●予熱とは

• 作る料理に適した温度にあらかじめ庫内をあたためておくことです。

■予熱中の調理時間・温度の変更

→ できません。

■設定温度と予熱温度の関係

→ 設定温度と同じ温度で予熱します。ただし設定温度が200℃以上のときは予熱温度は200℃になります。

■予熱時間の目安は

→ 200℃のとき、熱風で約7分、対流で約13分です。

■付属品の使い分けかた

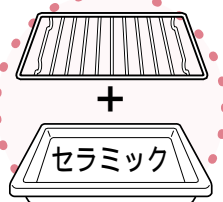
→ 加熱のしくみ（71ページ参照）

■調理時間の合わせかた

0	15分	40分 1時間30分
30秒間隔	1分間隔	5分間隔

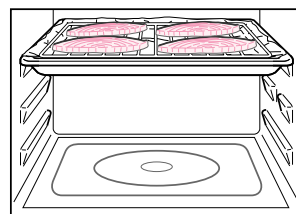
お知らせ

• 加熱中に表示される庫内温度表示の点滅は目安です。
食品や付属品に熱をうばわれるため、点滅が設定温度に達しない場合や、下がる場合がありますが、調理のでき具合には影響ありません。

時間を合わせて
グリル/発酵で調理する

例：魚をグリルで焼くとき

1 **食品を入れて**

を1回押す

- 押すごとにグリル⟷発酵と変わります。

2 **を回して時間を合わせる**

- 最大設定時間グリル30分、発酵1時間30分

3

を押す

表示は残り時間です。

お知らせ
- 両面にしっかり焼き色をつけるために、必ず加熱の途中で食品を裏返します。

▶**ブザーが3回鳴り、調理終了**
- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
- 容器が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。

■途中で調理時間を変更したいとき

→ 加熱中にダイヤルを回して増減する。
（1分単位で変えられます。）

■調理時間の合わせかた

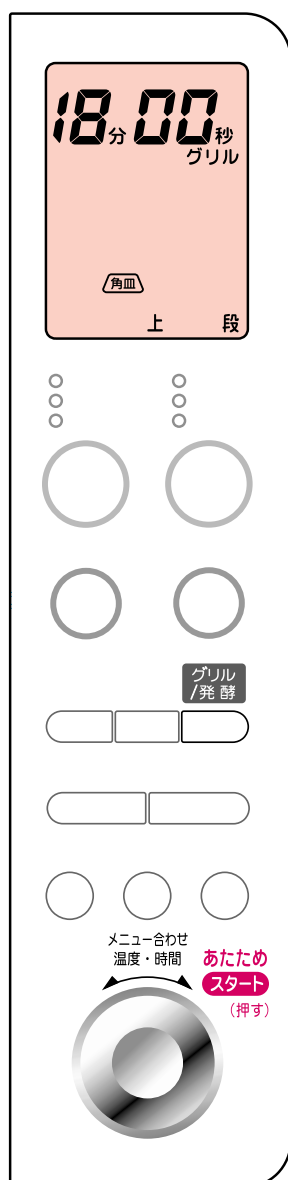
グリル

0	5分	10分 ～ 30分
10秒間隔	30秒間隔	1分間隔

発酵

0	15分	40分 ～ 1時間30分
30秒間隔	1分間隔	5分間隔

発酵

●庫内や付属品を十分冷ましてから発酵を行う
- 表示部に「C21」「皿高温」が表示されたときは、とびらを開けて庫内を冷まし、表示が消えるまでお待ちください。庫内温度が高いと発酵がうまくできません。

手動調理の設定時間とコツ

★レンジ調理の出力組み合わせ調理のメニューと、オーブン調理のメニューはCooking Bookに詳しい作りかたがありますので参考にしてください。

レンジ調理

★出力と時間をセットする調理の目安です。

ラップあり…○
ラップなし…×

あたため（レンジ1000W）

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
ごはん	1杯（150g）	約40秒	×
どんぶりもの	1杯（340g）	約2分10秒	×
スープ・みそ汁	1杯（150cc）	約1分20秒	×
野菜の煮物	150g	約50秒	×
カレー・シチュー	200g	約1分40秒	○
しゅうまい	6コ（100g）	約30秒	×
中華まん	1コ（80g）	約40秒	○

のみもの（レンジ1000W）

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
牛乳	1杯（200cc）	約1分20秒	×
酒かん	1杯（160cc）	約40秒	×

冷凍した食品のあたため（レンジ1000W）

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
冷凍ごはん	1杯（150g）	約2分	○
冷凍カレー・シチュー	300g	約6分	○
冷凍しゅうまい	5コ（100g）	約1分20秒	○
冷凍中華まん	1コ（80g）	約50秒	○

冷凍の肉・魚の解凍（レンジ200W）

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
肉	200g	約4分	×
	400g	約7分	×
	600g	約10分	×
さしみ	200g	約3分	×
	400g	約7分	×
	600g	約9分	×

冷凍ゆで野菜の解凍（レンジ1000W）

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
枝豆	100g	約1分20秒	○
さといも	100g	約1分40秒	○
かぼちゃ	150g	約2分40秒	○

野菜のゆでもの（レンジ1000W）

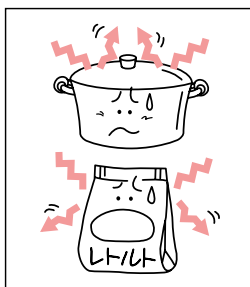
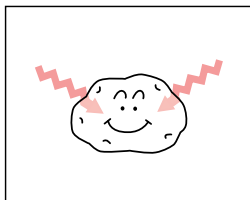
	メニュー名	分量	目安時間	ラップ
葉菜	ほうれん草	100g	約1分10秒	○
	キャベツ	100g	約1分20秒	○
	ブロッコリー	100g	約1分20秒	○
根菜	じゃがいも	1コ（150g）	約2分10秒	○
	さといも	100g	約1分40秒	○
	かぼちゃ	150g	約2分40秒	○
	にんじん	100g	約1分	○

加熱のしくみ

レンジ加熱

電波で食品を内と外から同時に加熱します。

電波の性質

- 電波が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子にまさつ運動が起こります。その結果、熱が発生し、食品は内部と外部が同時に加熱されます。
- 陶器や磁器などは電波を通しますが、金属製の容器や、アルミのレトルトパックなどは電波を反射するので加熱できません。

自動調理メニュー例
あたため・生解凍・牛乳・お酒・ゆで野菜（葉菜）・ゆで野菜（根菜）

レンジ調理のポイント

- **加熱時間は**
  食品の分量にほぼ比例します。
  分量を2倍にした場合は、
  加熱時間も2倍弱に合わせます。
- **レンジ加熱は**
  食品の水分が飛び、乾燥したり固くなりやすいので、少な目の時間設定で加熱します。

センサーについて

■食品の表面温度を検知できる赤外線センサーで、仕上がり具合を温度で管理しています。食品の初期状態（常温・冷蔵・冷凍）に関係なく、仕上がり温度を設定して加熱をスタートできます。

煮込み調理

- 食品を一度沸騰させてから、出力を自動的に下げて長時間味をしみ込ませる調理です。

自動調理メニュー例
シチュー・カレー・肉じゃが

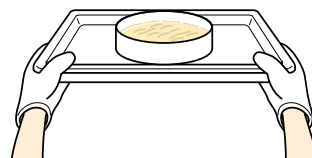
- **加熱時間は**
  選んだメニューによって、予め設定されていますので、設定する必要はありません。

お好み温度調理

- 食品を設定した温度にあたためます。（温度が優先される）
  低い温度の仕上がりができるので、ベビーフードのあたためや、バターなどをクリーム状にすることなどもできます。

- **調理温度と加熱時間は**
  メニューによって、適温の仕上がり温度が違います。
  23ページを参考に温度を設定します。
  仕上がり温度を優先する加熱なので時間は設定しません。

ミトンの使いかた

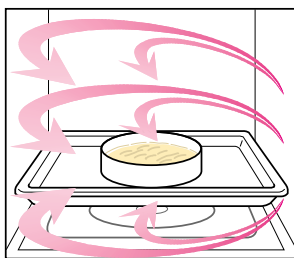
- **ヒーター加熱調理の際の角皿の出し入れに使います。**
  両手でしっかり持ちます。

ヒーター加熱

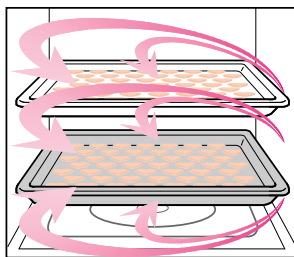
オーブン調理

熱風加熱
庫内奥にあるヒーターとファンの働きで、熱風をすみずみまで広げ、食品を包みこむように加熱します。

自動調理メニュー例
石窯（パン）・焼きいも・ミートローフ・クッキー・スポンジケーキ・シフォンケーキ

角皿（1段）

・お惣菜やお菓子を調理するときなどに使います。
詳しくは料理集をご覧ください。

角皿（2段）

・一度にたくさんの食品（クッキー・バターロール）を調理するときに使います。詳しくは料理集をご覧ください。

対流加熱
上下ヒーターを利用した庫内全体の熱で、食品を加熱します。

自動調理メニュー例：石窯（ピザ・ロースト）ローカロリーフライ・グラタン

角皿（1段）

・お惣菜やお菓子を調理するときなどに使います。
詳しくは料理集をご覧ください。

オーブン調理のポイント

● **食品の置きかたは**
加熱により、大きくなるメニューもあります。適度な間を開けてください。

● **加熱時間は**
食品の様子を見ながら加減してください。
続けて加熱するときなど庫内温度が高いときは、加熱時間を短く設定し様子を見ます。

● **加熱中は**
庫内の温度が下がりやすいのでとびらの開閉は少なくしましょう。

● **焼きムラが気になるときは**
加熱途中で食品の前後を入れ替えたり、濃い焼き色部分だけアルミホイルをかけます。

● **加熱後は**
焦げを防ぐためすぐ取り出しましょう。

グリル調理

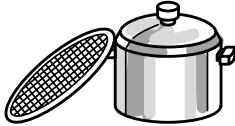
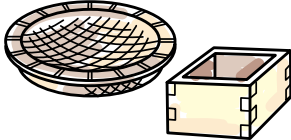
上ヒーターの強い熱を直接使って、食品の表面にこげめをつけます。

角皿+焼網

・魚などを、焼くときに使います。

● **均等に焼き色を付けるために**
加熱途中で食品を裏返します。

● **加熱後は**
焦げを防ぐためすぐ取り出しましょう。

使える容器・使えない容器

耐熱温度は容器に表示されている家庭用品品質表示法の表示をご覧ください。

容器の種類：**ガラス**	**電子レンジ加熱の時**	**ヒーター加熱の時**
耐熱性がある	**使えます** ただし、加熱後急冷すると、割れることがあります。	**使えます** ただし、加熱後急冷すると、割れることがあります。
耐熱性がない	**使えません** カットグラス、強化ガラスなど、ガラスの厚みの変化が大きなもの、ひずみのあるものも使えません。	**使えません**

容器の種類：**プラスチック**	**電子レンジ加熱の時**	**ヒーター加熱の時**
耐熱性がある （耐熱温度１４０℃以上） 「電子レンジ使用可能」表示があるもの	**使えます** ・ただし、ふたには熱に弱い物、密閉性の高い物がありますのではずしてください。 ・油脂、糖分の多い食品は、高温になるので使えません。	**使えません** 変形したり割れたりすることがあります。
耐熱性がない （耐熱温度１４０℃未満）	**使えません** 電波で変形するもの （ポリエチレン・スチロール・フェノール・メラミン・ユリア樹脂など）は 使えません。 ※ただし生解凍では発泡スチロール製のトレイが使えます。	**使えません**

容器の種類：**陶磁器・漆器**	**電子レンジ加熱の時**	**ヒーター加熱の時**
陶器・磁器	**使えます** ただし、金・銀粉、金・銀箔使用の容器は火花が飛ぶことがあるので使えません。	**使えません** ただし、耐熱性のある陶器、磁器土鍋、グラタン皿などは使えます。
漆器	**使えません** 塗りが剥がれたり、ひびが入る恐れがあります。	**使えません**

容器の種類：**金属**	**電子レンジ加熱の時**	**ヒーター加熱の時**
アルミ・ホーローなどの金属容器、金網、金串	**使えません** とくに金網、金串は火花が飛ぶことがあります。	**使えます** ただし、取っ手が樹脂の物は使えません。

容器の種類：**その他**	**電子レンジ加熱の時**	**ヒーター加熱の時**
木・竹・紙製品	**使えません** 金属物を使っている物は、スパークしたり、燃えたりすることがあります。	**使えません** ただし、耐熱加工を施した紙やケーキ用の硫酸紙は使えます。
アルミホイル	**使えません** ただし、生解凍などで電波を反射する性質を利用して部分的に使うこともあります。	**使えます** 角皿に敷いたり、こげ目の加減をするときやホイル焼きに使います。
ラップ （耐熱温度140℃以上）	**使えます** ただし、油分の多い料理は高温になるので使えません。 ポリエチレン製のラップは溶けて燃えることがあるので使えません。	**使えません** 高温になり、溶ける恐れがあります。

お手入れのしかた お手入れはすぐにこまめにがポイントです

⚠警告

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電・けが・やけどの原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

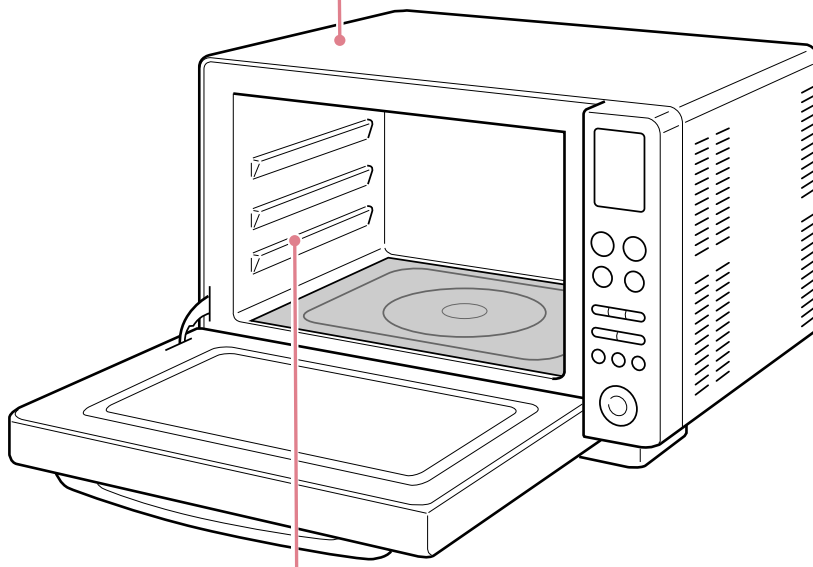
⚠注意

本体の掃除は、電源プラグを抜き本体がさめてから行う
感電や、やけどをする恐れがあります。

食品や肉汁などで、汚れたままにしない
さび・発煙・発火などの原因になります。

キャビネット・とびら

かたくしぼった、ぬれふきんでふく。
ひどい汚れは薄めた台所用洗剤（中性）をしみ込ませた布でふき取り、必ず洗剤分をふき取ってください。

お願い
- 水をかけないでください。さびたり故障したりすることがあります。

庫内・とびらの内側

かたくしぼった、ぬれふきんでふく。
- 落ちにくい汚れは、ぬれたふきんを汚れの上に置いて30分ぐらいふやかしてからふきます。
- 庫内底面の汚れはぬれふきんですぐふき取ります。また周囲のパッキン部分は強くこすらないようにします。

お願い
- たわしやフォークなど先のとがった物でこすらないでください。傷になったり、割れる原因になります。

■お手入れしても庫内の臭いがとれないとき

カラ焼き(12、13ページ参照)してください。
臭いがやわらぎます。

■長時間ご使用にならないとき

電源プラグをコンセントから抜き、各部をお手入れしてから、湿気や、ほこりがかからないようにして、おしまいください。

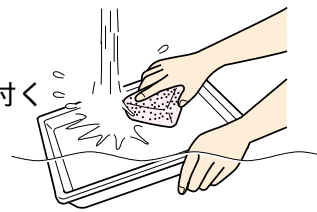
お願い

住宅家具用洗剤（弱アルカリ、アルカリ、弱酸性、酸性など）、オーブンクリーナー、クレンザー、ベンジン、シンナー、漂白剤、熱湯、可燃性ガス（LPGなど）入りスプレー洗剤は使わないでください。損傷、変色、変形、発煙、発火などの原因になります。

禁　止

角皿

スポンジたわしで汚れを落とし、十分に水気をふき取る。汚れは洗い桶などの中で落とす。

- 角皿（鉄板ホーロー）に水気が残っているとサビが付くことがあります。
- 角皿の汚れが落ちないときは、水で薄めた漂白剤に一晩つけてください。

お願い

- 角皿は使用後、急冷しないでください。破損・変形する事があります。
  また加熱直後に水をかけると蒸気が発生したり、熱い飛沫が飛びます。
- 角皿は金属たわしや先のとがったものでこすったり、落としたりしないでください。傷ついたり、割れることがあります。

お料理が上手にできないとき（レンジ調理）

●ごはん・おかずのあたため

症状	対処
食品があたたまらない	●食品が金属容器・アルミホイルなどで、おおわれていませんか。
あたためキーであたためても熱くならない	●陶器やガラス製の蓋を使っていませんか。 →赤外線センサーがうまく働かないことがあります。
あたためキーであたためると熱くなりすぎる	●食品の重さと同じくらいの容器に入れて加熱します。
ごはんがぱさつく	●加熱前に水を少しかけると、しっとり仕上がります。
煮もの・煮魚などの煮汁が飛び散る	●汁気を切って深めの容器に入れて加熱します。
カレーやシチューがあたたまらない	●とろみのある食品は「おかず」を選んで「仕上がり調節」○を4回押して加熱してください。（95℃の設定になります）
冷凍ごはんがあたたまらない	●食品の重さと同じくらいの容器に入れて加熱します。 ●表面がとけかかっていたり、新しいラップをかぶせるとセンサーが正しく働かないことがあります。冷凍庫から出してすぐのものをお使いください。
冷凍食品があたたまらない	●食品の重さと同じくらいの容器に入れて加熱します。 ●表面がとけかかっていたり、新しいラップをかぶせるとセンサーが正しく働かないことがあります。冷凍庫から出してすぐのものをお使いください。 また、食品にラップが必ずふれるようにかぶせてください。
食品がぱさつく	●霧を吹いて加熱します。
フライや天ぷらがベチョッとする	●ペーパータオルを敷いた皿の上に並べます。

●のみもののあたため

症状	対処
牛乳が熱くなりすぎる	●「牛乳」で加熱していますか？「あたため」では熱くなります。 ●分量はどのくらい入っていますか？容器に対して7～8分目まで入れてください。容器に対して少量しか入れないと沸騰する恐れがあります。1杯の量が少ないときは仕上がり調節（弱め）で、1杯の量が多いときは（強め）で加熱します。
牛乳にマクができる	●加熱後、放置しておくとマクが張ることがあります。すぐにかき混ぜるとできにくくなります。
お酒が熱くなりすぎる	●「お酒」で加熱していますか？「あたため」では熱くなります。
上の方と下の方で温度が違う	●とっくりの首の部分をアルミホイルで覆うと上下の差が少なくなります。

●生解凍

症状	対処
上手に解凍できない	●食品を浅めのトレイかペーパータオルの上にのせて加熱してください →深めのトレイに食品が入っていると、トレイのふちがじゃまになり温度をうまく測定できず、上手に解凍できないことがあります。 ●うまく解凍できる厚さは3cmまで。厚さは均一にし、細い部分や魚の尾などにはアルミホイルを巻いてください。 ●同時に2つ以上を解凍するときは同じ種類のもので同じ大きさに。
解凍不足	●食品の温度が部分的に上昇するとセンサーの働きで、加熱終了となり、解凍不足になることがあります。 →食品に薄いところや細いところがあると部分的に加熱されやすいので全体の厚さをそろえて冷凍してください。 →加熱不足の部分はレンジ200Wで様子を見ながら加熱してください。

●ゆでもの

症状	対処
野菜が乾燥気味になる	●野菜を洗い、水気を切らずにラップにくるんでください。
できすぎのところと、加熱の足りないところがある	●かぼちゃ、じゃがいもなどは大きさをそろえてください。 ほうれん草などは葉と茎を交互に重ねます。

お料理が上手にできないとき（オーブン調理）

●スポンジケーキ

ケーキのふくらみが悪い	●卵はしっかりと泡立てましたか？字が書けるくらいしっかりと泡立ててください。 ●粉を合わせたあと、混ぜすぎていませんか？
泡立てがうまくできない	●ボウルや泡立て器に、水分や油分がついていると泡立ちが悪くなります。
きめが粗く粉っぽい	●粉をふるって入れましたか？ ●粉がなじむまで混ぜましたか？
中央が沈む	●卵の泡立てすぎはありませんか？

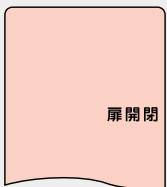
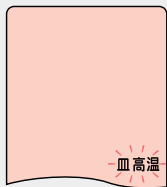
●シフォンケーキ

膨らみが悪い	●卵白をしっかり泡立ててください。ボウルをひっくり返しても落ちてこないくらいまで、しっかりと泡立ててください。卵は冷やしておいた方がよく泡立ちます。
ケーキの中に空洞ができた	●型に生地を流し入れるときに空気が入ったと考えられます。生地を高いところから一気に入れましょう。

●シュークリーム

膨らみが悪い	●分量は正しく量りましたか？ ●生地を作るときにレンジの加熱時間は正しかったですか？

●クッキー

焼き色にむらがある	●生地の厚みや大きさは均一ですか？

●バターロール

膨らみが悪く、かたい	●生地の発酵は十分でしたか？発酵不足で生地温度が低いとあまり膨らみません。 ●成形するとき生地をいじめていませんか？生地をいじりすぎると固くなります。ていねいに扱いましょう。

こんな表示が出たときは

表　示　例	理　由（原　因）	処　置
「扉開閉」表示 扉開閉	●「あたため」「生解凍」「石窯メニュー」「牛乳」「お酒」のときとびらを閉め1分過ぎてからキーを押すと表示します。	● もう1度とびらを開閉し、1分以内にキーを押してください。
「皿高温」表示 皿高温	● オーブンなどヒーター加熱調理終了後庫内が高温のとき表示します。	● とびらを開け、温度が下がるまで待ってください。 （約15～20分程度で表示が消えます。表示中でも「とりけし」キーを押すか調理メニューを設定すると消え、使うことができます。）
「C21」と「皿高温」表示 C 21 皿高温	● オーブンなどヒーター加熱調理の後などで、庫内温度が高いときに「発酵」を設定すると、表示部に「皿高温」が点滅します。このとき「スタート」キーを押すと、左記の表示になります。	●「とりけし」キーを押し、とびらを開け、温度が下がるまで待ってください。
	● オーブンなどヒーター加熱調理の後などで、庫内温度が高いときに「あたため」「生解凍」「牛乳」「お酒」「ゆで野菜」「シチュー・カレー」「肉じゃが」「お好み温度」を開始すると表示します。	●「とりけし」キーを押し、とびらを開け、温度が下がるまで待ってください。
「H」表示 H 02 など	● 製品が故障したとき表示します。	● 電源プラグを抜き、修理を依頼してください。

修理を依頼される前に

つぎのような場合は故障ではありません。

現　　象	理　由（処　置）
電源プラグを、コンセントに差し込んでも何も表示しない。	● とびらを閉じた状態で、電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは電源は入りません。 一度とびらを開けると、電源が入り表示します。
調理中、カチカチと音がする。	● 機械室内のスイッチ切換え音です。故障ではありません。
オーブンなど、ヒーター加熱時に、ボコッボコッという連続音や、ボコンという音がする。	● 熱収縮による加熱室壁面の音で故障ではありません。
電子レンジ調理の開始時及び途中に、ジーという連続音がする。	● 電子レンジ調理時の動作音で故障ではありません。
調理中、調理後に音(ファン)がしたり、しなかったりする。	● 機械室等を冷却するファンの音で故障ではありません。 ● レンジ調理後、冷却ファンが回ることがありますが故障ではありません。 ● オーブン・グリル調理後、冷却ファンが回ることがありますが故障ではありません。
キーを､押しても受け付けず､何も表示しない。	● とびらを開け、食品を入れてから操作してください。 （省エネルギーのため､とびらを開けた後5分をすぎると電源を切るためです。）
とびらを開けると表示部に「0」が表示する。	● とびらを開けたとき電源が入る仕様です。
調理終了後、1分後、1分ごとにピーッピーッピーッと鳴る。	● 調理終了後、庫内の食品を取り出さないと鳴る機能がついています。 故障ではありません。
ブザーが鳴らない。	● ブザー音を消す設定になっていませんか。 ブザー音の消しかたと戻しかた（81ページ）を参照して、設定しなおしてください。

お知らせの音について

次の操作・状態のとき、ブザー音でお知らせします。

■キーを押したときは→ピッ
■調理終了のときは→ピーッピーッピーッ
■予熱終了のときは→ピーッピーッピーッピーッピーッ
■加熱終了後、食品を取り出し忘れると→ピーッピーッピーッ
■異常表示のときは→ピピピピピピピ

修理を依頼される前につぎのことを点検してください。

現　　象	点　検　（処　置）
まったく動かない。	●停電ではありませんか。 ●電源プラグが抜けていませんか。 ●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●途中でとびらを開閉しませんでしたか。 ●無表示の状態で、キー操作をしていませんか。 （とびらを開け、食品を入れてからキー操作してください。）
「あたため」「生解凍」「石窯メニュー」「牛乳」「お酒」「スタート」キーを押しても加熱されない。	●「あたため」「生解凍」「石窯メニュー」「牛乳」「お酒」のとき、とびらを閉め1分をすぎてからキーを押していませんか。 （食品をとり出し、とびらを閉めてもう一度とびらを開け食品を入れてキーを押してください。） ●「皿高温」が表示されていませんか。 （とびらを開けて庫内をさまし、「皿高温」表示が消えてからキーを操作してください。） ●とびらがきちんと閉まっていますか。
料理のでき上がりが悪い。	●調理のしかたは正しいですか。 （ふた、ラップの有無、付属品など確認してください。） ●庫内が、熱いまま自動調理しませんでしたか。 （庫内の温度が下がるまで待ってください。） ●食品の量は適当でしたか。 ●庫内の上面や底面が汚れていませんか。 ●メニューを正しく選んで調理開始しましたか。
現在の食品の温度表示が設定温度近くになっているのに、なかなか終了しない。	●まだ低い温度の部分がある場合、設定温度近くの表示で、しばらく終了しない場合がありますが、故障ではありません。

ブザー音の消しかたと戻しかた

■ブザー音を消す

取り出し忘れお知らせのブザー音だけを消すとき

1 「0」表示中に とりけし◯ をピッピッとブザー音がするまで（約3秒）押す

2 続いて ▲◯ を押す

全てのブザー音を消すとき

1 「0」表示中に とりけし◯ をピッピッとブザー音がするまで（約3秒）押す

2 続いて ▼◯ を押す

■ブザー音をなるように元にもどす

ブザーの音を、消した操作と同じ操作を行うことによりブザー音が出るようになります。

引っ越しについて

- **この東芝センサーオーブングリルレンジは電源周波数50Hz-60Hz共用です。**
- **周波数（Hz：ヘルツ）の異なる地域へ引っ越してもそのままお使いになれます。**
- **電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に50Hz-60Hzが切換えられます。**
- **必ずアースを取り付けてご使用ください。（6ページ参照）**

仕様

電源		交流100V　50Hz-60Hz共用		
定格消費電力		電子レンジ1450W(14.6A)、ヒーター加熱1420W(14.2A)		
高周波出力		1000W・600W連続・500W・200W相当　出力切換		
発振周波数		2450MHz	ヒーター	上780W・下520W・熱風1360W
質量(重量)		16kg	温度調節範囲	発酵、100～250℃※
寸法	外形	340（高さ）×495(幅)×429（奥行）mm		
	庫内有効	244（高さ）×329(幅)×341（奥行）mm		
	コードの長さ	1.4m		
タイマー時限		レンジ1000W：20分/レンジ600W・レンジ500W・グリル：30分 レンジ200W・オーブン・発酵：1時間30分		

※このセンサーオーブングリルレンジの250℃での運転時間は約20分です。その後は自動的に200℃に切り換わります。

- この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

- この東芝センサーオーブングリルレンジには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝センサーオーブングリルレンジの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。ただし発振管（マグネトロン）は2年です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- センサーオーブングリルレンジの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は

お買いあげの販売店にご相談ください。

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合	新製品などの商品選び、お取り扱い･お手入れ方法などのご相談
東芝家電修理ご相談センター	**東芝家電ご相談センター**
フリーダイヤル **0120-1048-41**	フリーダイヤル **0120-1048-86** 携帯電話・PHSからのご利用は **03-3426-1048** FAXのご利用は **03-3425-2101**（365日･8:00～20:00受付）

※電話受付：365日･24時間受付　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

修理を依頼されるときは　出張修理

● 79～81ページの表に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

■保証期間中は

● 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は

● 修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料等で構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ、技術員を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品　　名	センサーオーブングリルレンジ
形　　名	ER-V9
お買いあげ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お　名　前	電話番号　　訪問希望日
便利メモ	
	電話番号

お買い上げ店名を記入されておくと便利です。

■ご転居のときは

● この東芝センサーオーブングリルレンジは、電源周波数50Hz-60Hz共用です。周波数の異なる地域に、ご転居されてもそのままお使いいただけます。

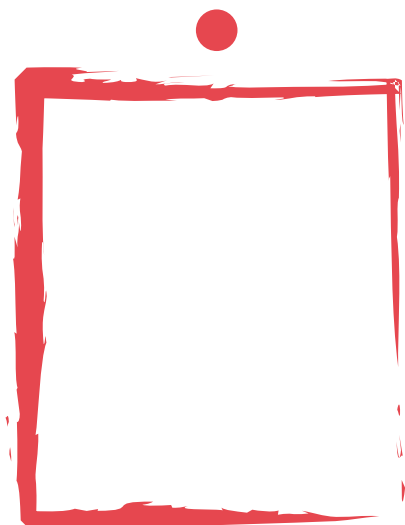
愛情点検

長年ご使用の電子レンジの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

● 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
● キーを押し、調理を開始しても食品が加熱されない。
● 自動的に切れないことがある。
● 使用中に異常な音や臭いが出ることがある。
● 庫内のカバーや壁面が汚れ、スパーク（火花）または煙が出ることがある。
● その他の異常や故障がある。

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。（技術のあるサービスマン以外の人は絶対にキャビネットをはずさないでください。）

東芝センサーオーブングリルレンジ

形 名 **ER-V9**

株式会社 **東芝**

家電機器社

〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1（東芝ビルディング）

4451801901-1